

第9回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成19年11月26日(月) 県庁4階大会議室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 広瀬 慎一 (富山県立大学短期大学部教授) 委員 尾畑 納子 (富山国際大学地域学部教授) 委員 島谷 武志 (弁護士) 委員 中村 和之 (富山大学経済学部教授) 委員 林 玲子 (税理士)		
次第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 平成19年度公共工事に係る入札契約制度について ② 入札契約方式別発注状況について ③ 指名停止等の運用状況について ④ 落札率について ⑤ 一位不動入札について ⑥ 落札率100%入札について 3 審議対象工事の抽出結果の報告(広瀬委員長) 4 発注工事の審議(抽出案件) 5 閉会		
審査対象期間	平成19年4月1日～平成19年9月30日		
審議案件	10件 (対象工事総件数865件)		
一般競争 入札	3億円以上	1件	・主要地方道富山庄川線臨時道路交付金 藤橋上部工工事
	1億円以上	1件	・都市計画道路呉羽町袋線臨時街路交付金(富山大橋)下部工 A1橋台工事
	2千万円以上	2件	・境海岸侵食対策緩傾斜護岸工第2工区工事 ・附帯農地防災射水西部地区 西部第3号排水路第12工区工事
通常型指名競争 入札	5件	・主要地方道宇奈月大沢野線外県単独道路維持修繕舗装補修工事 ・主要地方道立山水橋線 県単独交通安全施設整備防護柵設置工事 ・ふるさと林道小口川線 法面3工区工事 ・土地改良総合整備(一般型)福野北部地区 清水清沢用水路第12工区工事 ・子撫川水道管理所ろ過池排水サイフォン修繕工事	
随意契約	1件	・伏木富山港(新湊地区)港湾環境整備東埋立地緑地遊具設置工事	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会としての意見	平成19年度上半期発注工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

(問合せ先) 富山県土木部管理課入札・契約係
 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 電話番号: 076-444-3309

別 紙

意見・質問	回 答
○藤橋上部工工事に於いて、仮に 10 月から実施している失格基準を適用した場合、失格となるか。	・失格基準価格を試算すると約 812 百万円（税抜）となり、入札額はこれを上回るので失格にならない。
○富山大橋下部工に於いて、橋脚、橋台を一本ずつ発注しているが、なぜか。	・県内企業の受注機会を確保すること、また工事を分割発注することによって、人員の確保や工期の安定化を図るためである。
○総合評価方式の実施状況は。	・今年度は 2000 万円以上の工事を対象に約 2 割、100 件程度で試行する予定である。上半期で約 80 件試行したところである。
○総合評価方式に於いて最低入札者が落札できない逆転現象は発生しているか。	・昨年度は土木部で 14 件試行し、1 件逆転した。今年度は上半期に土木部で試行した 50 件のうち、逆転は 5 件、約 1 割の案件で発生した。
○低入札価格調査に於いて、入札額が適切であることを、経費節減、工事の品質確保などの面から確認されているが、しわ寄せ防止の観点からは、どのようなプロセスで確認しているのか。	・業者は入札に当たり、下請予定業者から見積書を徴収しており、ヒアリング調査の際にその見積書の内容が妥当かどうか確認している。 また、契約後も、下請届が提出された段階で確認している。
○電子入札を実施しているが、設計図書も電子化しているのか。	・設計図書の電子化については一部の案件で試行中である。設計図書は紙で配付しているが、業者が顔を合わせないように直接、会社に郵送している。
○特殊な工事と考えられるろ過池の工事に於いて、同種工事の施工実績を有しない 7 者をどのように選定したのか。	・同種の工事を施工できる目安となる総合数値の上位 7 者を選定した。
(その他)	